

成田っ子 通信

～チーム成田のみなさんへ～



先生方の活躍ぶりや授業の様子、先生方へのメッセージを載せています。

R 4.1.31 No.24

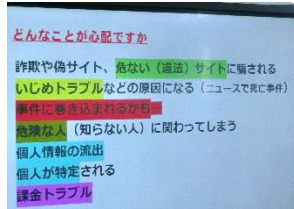
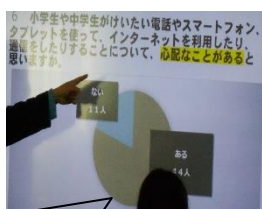
文責 新井麻起

本校では学校研究課題を「個別最適な学び」と「共同的な学び」の一体化を目指した授業の創造～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践～とし、「一人2回」を合い言葉に校内の研究授業を行っています。今回は 塚田 勢津子 教諭の 道徳 の授業です。

教科：道徳 単元名「あなたはどうか考える」（節度・節制 6年2組 塚田 勢津子 教諭

本時ではスマートフォンをもった後の様々な問題を乗り越えるために、保護者が考えた2つの意見を比較しながら話し合う活動を通して保護者の思いや節度をもって使用していくことの大切さに気づき、自他の安全な生活を守ろうとする態度を育てる授業である。

【アンケート結果から心配な点】



事前のアンケート結果からスマートフォンをもったとき心配なことがある、と答えた児童が80%いた。

- ×危険なサイトに騙される
- ×事件にまきこまれるかも
- ×個人情報の流出
- ×個人が特定される
- ×いじめトラブル

【「もたせる」「もたせない」のメリットとデメリットの考え】



もっているときもっていないときのメリット・デメリットを伝えながら考えている。

- メリット**
- 自分が傷つけることも傷つけられることもない
 - 勉強に集中できる
 - インターネットから見を守る
- デメリット**
- ×仲間外れになる
 - ×皆から遅れる
 - ×緊急時に連絡が取れない
 - ×いじめにつながる

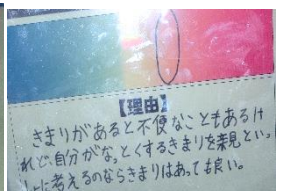
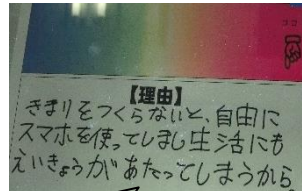
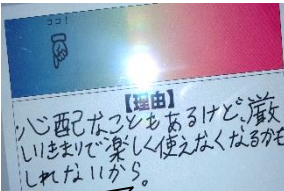
《親の共通の思い》

- 正しい判断ができる人に！
- 命や生活を守ってほしい！

【きまりの有無をハートメーターで表しと理由を書く】

【理由等の書き込みと意見交換のためのタブレットの有効活用】

【互いの考えを聞き話し合う】



親の思いを考えながらきまりをつくったほうがよいか、つくらないほうがよいか考える。

【きまりをつくらない】心配ではあるが、厳しいきまりだと楽しく使えなくなるから。

【きまりをつくる】きまりがないと自由にスマホを使ってしまう生活にも影響が出てしまうから。

【中間】きまりがあると不便なことあるけど家族と話し合い自分が納得するきまりであればいい

C:私はきまりを作った方が良いと思いました。それは・・・

こんなに熱い授業、深い授業に取り組んでいれば、悪い行為をする人には決してなりません！！

教材・教具の準備は勿論のこと、効果的なICTの活用、心を揺さぶる補助発問、適切な資料の選択と提示・・・完璧です。

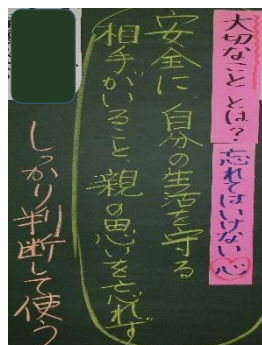
【意見発表】

【大切なこと、忘れてはいけない心】

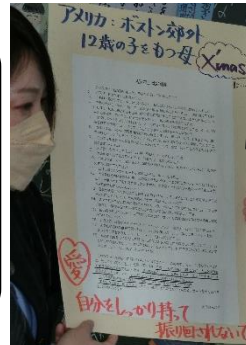
【アメリカの母から息子へスマホを使うための「18の約束」】



C:きまりがあると不便なことあるが親と一緒に考えて作るのであればあった方が良くと思います。



大切なこと、忘れてはいけないことは、「安全に自分の生活を守る」「相手がいること、親の思いを忘れずに、



記事の内容「この『18の約束』はほとんど人生をより良く生きるための知恵でもあります。スマホをもつことは12歳のあなたにとってもドキドキする楽しいことです。でも、自分をしっかりと振り回されないで欲しい。どんな高性能の機械よりも、自分のパワーと大きな心を信じてください。あなたが大好き。何よりも大切に思っています」

